

卵巣漿液性癌における低異型度漿液性癌の意義についての後方視的研究

1. 研究の対象

1984年3月から2013年8月までの間に、当院で卵巣漿液性癌と診断された症例です。

2. 研究目的・方法

卵巣漿液性癌のほとんどは、高異型度漿液性癌ですが、少ないながらも低異型度漿液性癌があります。低異型度漿液性癌の特徴は未だ不明な点が多くあります。そこで、当院で診療を行った低異型度漿液性癌の後方視的検討を行い、その臨床病理学的な特徴について検討することを目的としています。研究期間は学校長承認後から平成35年12月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、手術記録、カルテ番号 等

試料：病理検体、採血検体

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

防衛医科大学校 産科婦人科学講座

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

電話：04-2995-1511（内線 2363）

FAX：04-2996-5213

研究責任者：防衛医科大学校 産科婦人科学講座 講師 宮本守員